

書道Ⅱ シラバス (高校書道Ⅱ、教育出版)

教科名(芸術) 科目名(書道Ⅱ) 単位数(2)芸術選択 担当クラス (2年)

1、学習の到達目標等

| | |
|-----------|---|
| 学習到達目標 | <p>1、書道における創造的な活動を通して、書を愛好する心情を育てる</p> <p>2、書を楽しむ態度を通して感性を高め、書の文化や伝統についての理解を深めていきます。</p> <p>3、1と2の学習を通して、個性豊かな表現の能力と書的美しさを感じ取る鑑賞の能力を伸ばしていきます。</p> |
| 使用教科書・副読本 | 高校書道Ⅱ 17教出 / 書Ⅱ 703 |

2、授業計画

| 学期 | 月 | 配当時間 | 題材 | 目標及び主な指導内容 | 評価の観点 |
|----|----|------|---------|--|------------------|
| 1 | 4 | 2 | 書の美について | 書のⅠの基礎の上に立って書道Ⅱでのさまざま書に対して興味、関心を持たせ、学習内容を理解させる。 | ワークシート提出 作品提出 |
| | 5 | 8 | 篆書学習 | 篆書の用筆、運筆法、字形のとり方について理解させる。 篆書の古典の美について理解させ、臨書させる。 | 作品提出 |
| | 6 | 8 | 隸書学習 | 隸書の用筆、運筆法、字形の取り方に注意して臨書させ、練習させる。 | 作品提出 |
| | 7 | | | 半切作品に仕上げる。 | 半切作品提出 |
| 2 | 9 | 8 | 行草書の学習 | 行草書の曲線的な字形や律動的な運筆法を理解させ、練習させる。半切作品に仕上げる。 | 半切作品提出 |
| | 10 | 8 | 刻字 | 自分の姓名の文字を書き込み清書して木の板に刻字する。 | 表札 |
| | 11 | 8 | 仮名 | 仮名の単体の特徴を理解させ練習させる。仮名を書く佐野の特徴である連綿について理解させる。 | 作品提出 |
| | 12 | 6 | 実用の書 | 硬筆書も美しく書けるよう練習させる。 | |

| 学期 | 月 | 配当時間 | 題材 | 目標及び主な指導内容 | 評価の観点 |
|----|---|------|-----------|---------------------------------------|------------------|
| 3 | 1 | 2 | 楷書の学習 | 古典を臨書し、半切作品に仕上げる。 | 作品提出 |
| | 2 | 8 | 漢字から交じりの書 | これまで学んできた古典作品を元に自分の好きな詩や俳句や短文を書き表現する。 | 作品提出 ワークシート提出 |
| | 3 | 4 | まとめ | これまでの大事な作品を表装仕立てにする。 作品展示発表と観賞会を行う。 | |

3、評価方法

- 1、提出作品、「学習記録」の記録状況、「学習のまとめ」の内容、用具・教材の扱いを含めた学習活動への参加の態度などを基に総合的に評価します。
- 2、学期全体の評価は、提出作品で60%「学習記録」と「学習のまとめ」で20%、学習活動への参加態度20%の配分で行います。
- 3、提出作品については漢字の書(臨書)においては対象となる古典の特徴を表現できたか、創作作品においては自分のいいたように表現することができたか、仮名については基本的な用筆、正しい字形が修得できた
- 4、年間の学習評価は、1, 2, 3学期の成績を総合し、年間の学習成績とします。

4、評価の観点、内容及び評価方法

| 評価の観点及び内容 | | 評価方法 |
|--------------|---|---|
| 関心・意欲・態度 | 書を愛好し、古典の学習を通して書の文化や伝統についての理解をふかめようとしているか。漢字の書、仮名の書、漢字仮名交じりの書の学習を通して、意欲的、主体的に表現や鑑賞の活動を行い、書の喜びを味わおうとしているか。 | ・学習活動への参加の仕方や態度 ・「学習のまとめ」の内容 ・提出作品 ・定期考査 |
| 芸術的な感受や表現の工夫 | 感性を高め、漢字仮名交じりの書、漢字の書、仮名の書の学習を通して個性豊かな能力を伸ばし、創造的な表現を工夫しているか。 | ・提出作品 ・「学習のまとめ」の内容 |
| 創造的な表現の技能 | 漢字の書・仮名の書・漢字仮名交じりの書において個性豊かな表現をするために、幅広い表現理論と技能を身につけているか。 | ・提出作品 |
| 鑑賞の能力 | 古典の学習を通して書の歴史や文化について理解し、鑑賞の活動の中で書の部を噴石的、総合的にとらえ、そのよさや美しさを味わっているか。 | ・提出作品 ・「学習のまとめ」の内容 |